



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

## 求職者の60歳以上、1割を超える 希望施設「訪問看護ステーション」3割増加

### 2018年度「ナースセンター登録データに基づく 看護職の求職・求人・就職に関する分析」結果

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員74万人）は、看護職の求職・求人・就職に関する報告として、2018年度の都道府県ナースセンターの登録データの集計・分析結果をまとめました。

日本看護協会では今回の集計・分析の概要として、2018年度の求人倍率、求人、求職者の状況や応募・就職の状況、給与などを報告しています。すべての結果を収載した「平成30年度ナースセンター登録データに基づく看護職の求職・求人・就職に関する分析報告書」は、本会公式ホームページ（<https://www.nurse.or.jp/>）で全文をご覧いただけます。

報道関係者の皆さまには、このたびの報告の趣旨にご理解をいただき、さまざまな機会にご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

都道府県ナースセンターは都道府県知事からの指定を受け、運営しています。全国88カ所、うちサテライト・支所41カ所のナースセンターを運営、看護職の無料職業紹介事業や潜在看護職の復職支援事業（研修など）を実施しています。

#### < ポイント >

- 2018年度のナースセンターの求人数は157,087人、求職者数は67,620人、求人倍率は2.32倍で2016年度、2017年度と同水準……………P2
- 求職者は「40～44歳」が最も多い  
特に60歳以上は、2016年度から毎年増加、2018年度は1割を超えている ……P3
- 求人数の多い施設は、「病院(20～199床)」「病院(200～499床)」「訪問看護ステーション」の順  
「病院(500床以上)」の求人数は、年々減少している ……P8
- 求職者の希望が多い施設は、「病院(20～199床)」「診療所(無床)」「病院(200～499床)」「健診センター・労働衛生機関」「病院(500床以上)」の順であり、2016年度、2017年度と同傾向 ……P8
- 「訪問看護ステーション」は、希望する求職者数が2016年度より3割以上増加している ……P9

## 1. 求人倍率

- ◆ 求人倍率は2.32倍で前年度、前々年度と同水準
- ◆ 訪問看護ステーションの求人倍率は2.91倍と施設種別で最も高い

- ◆ 2018年度のナースセンター登録の求人数は157,087人、求職者数は67,620人であり、求人倍率は2.32倍と2017年度とほぼ同水準。（図1）

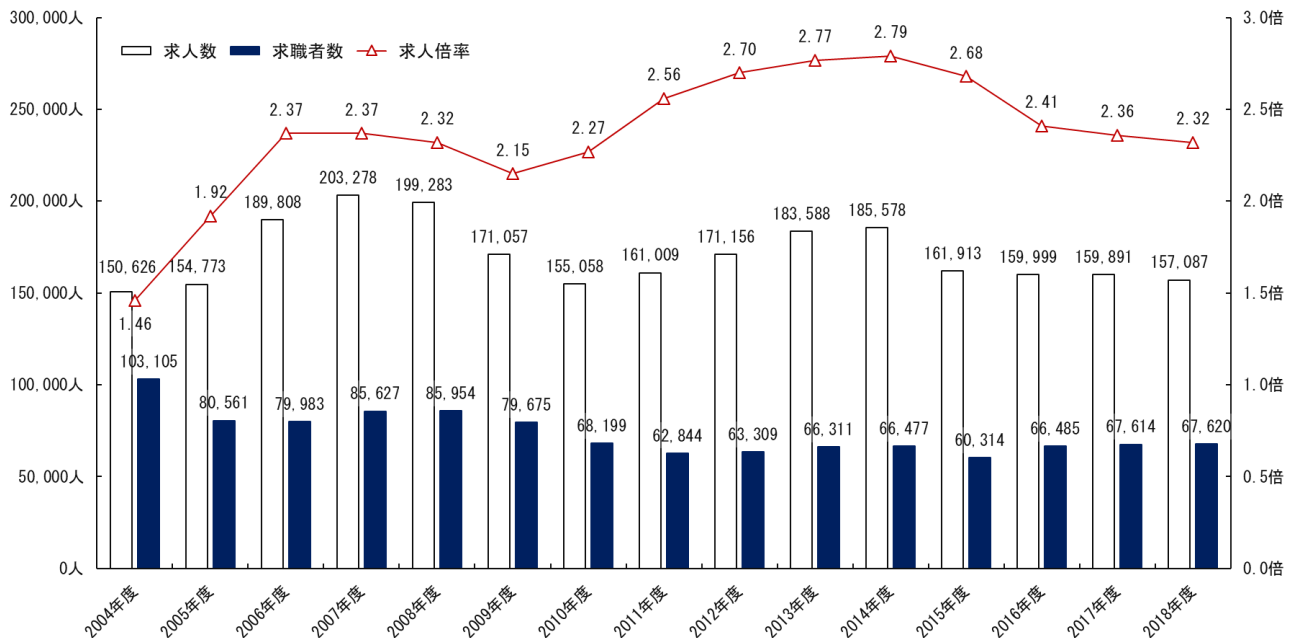


図1 求人数、求職者数、求人倍率の推移

- ◆ 施設種別については「訪問看護ステーション」2.91倍、「病院（20～199床）」1.83倍、「病院（200～499床）」1.41倍、「介護老人福祉施設（特養）」1.20倍、「病院（500床以上）」1.12倍が高く、「訪問看護ステーション」は、2016年度、2017年度と同様に最も倍率の高い施設種別となっている。

その他に求人倍率が1.00倍を超える施設種別は「ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム」「介護老人保健施設」である。（図2）

- ◆ 求人倍率の最も高い「訪問看護ステーション」については、ナースセンターに登録している求人施設数3,404事業所、求人数15,266人、1事業所あたり4.5人の求人登録となっており、訪問看護ステーションに勤務する看護職（常勤専従・兼務、非常勤）が1事業所あたり6.7人※であることから、人員規模の観点からみて、多くの看護職を必要としている。 ※ 厚生労働省「平成29年度 介護サービス施設・事業所調査」（63,080人を9,445事業所で除して算出）

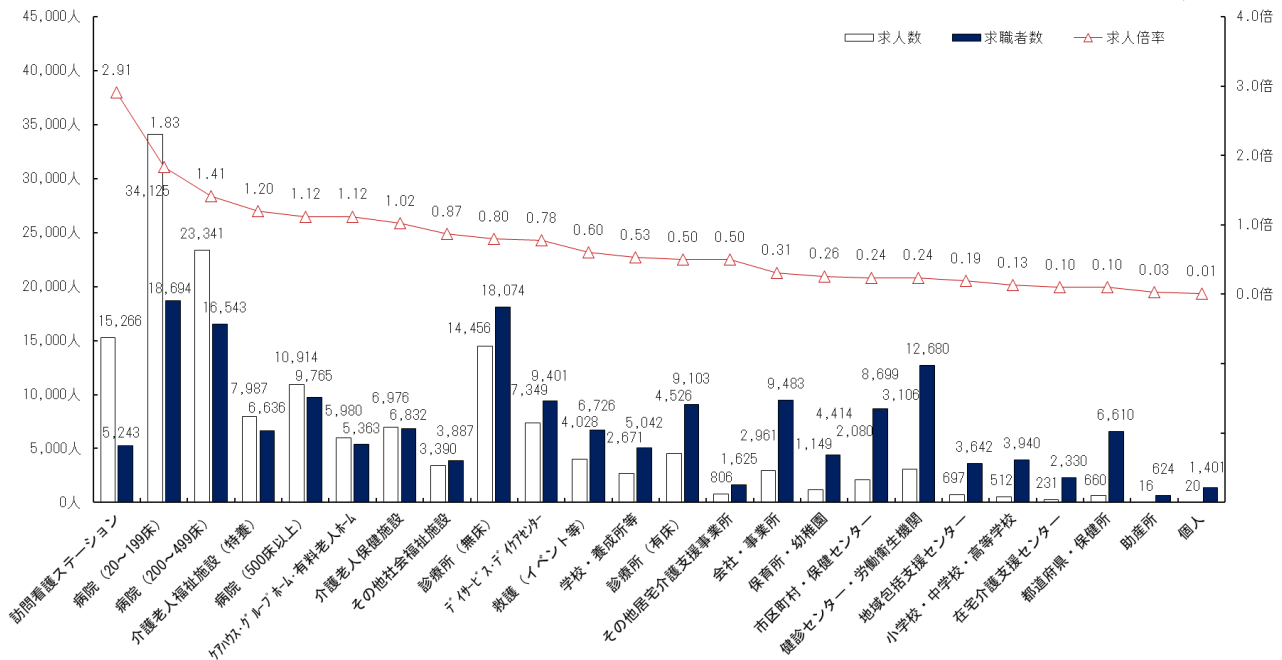


図2 施設種類別の求人倍率

## 2. 求職者の状況

### ◆ 29歳以下と50歳以上の求職者が継続して増加している

- ◆ 求職者67,620人の年齢構成は「40～44歳」が15.7%で最も多く、その前後の「45～49歳」「50～54歳」「35～39歳」が14.9%、12.9%、12.9%が続いている。  
また、60歳以上の求職者についてみると、全体の10.7%を占めており、2016年度の9.0%、2017年度の9.9%から継続して増加している。29歳以下と50歳以上の求職者が2016年度以降は継続して増加している。(図3)

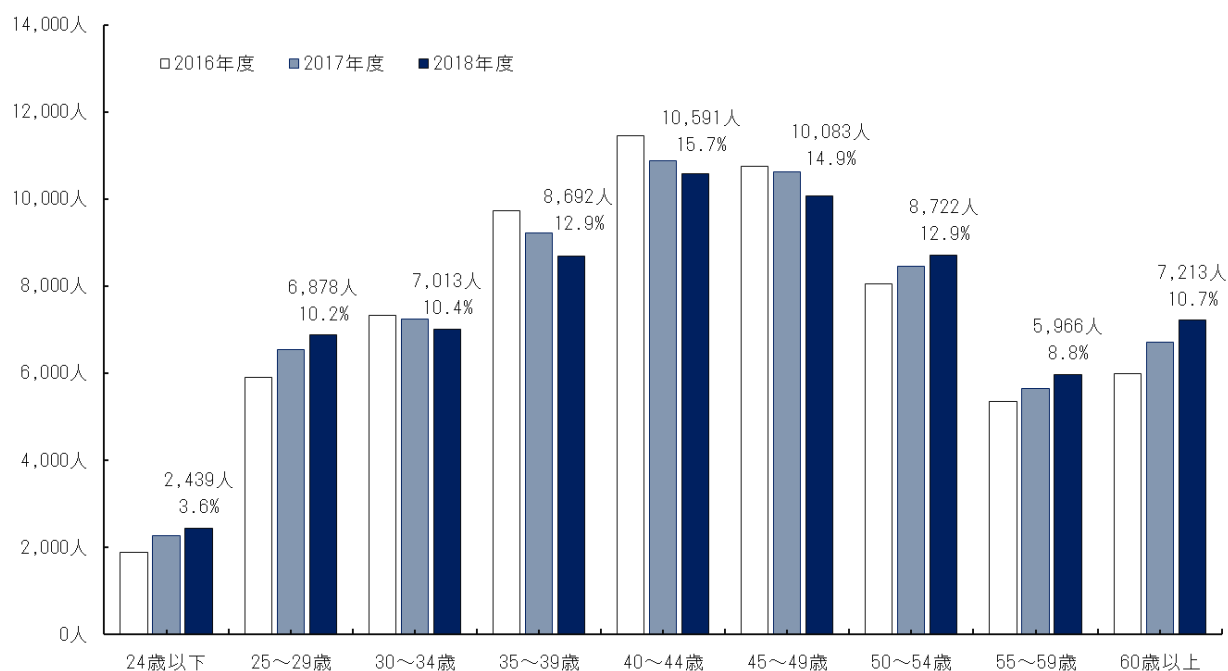


図3 求職者数（年齢階級別）（2016年度、2017年度、2018年度）

### 3. 求職者の退職理由、退職したい理由

- ◆ 全体として、今の職場を退職したいと考える理由は「看護職の他の職場への興味」「勤務時間が長い・超過勤務が多い」が上位となっている。
- ◆ 29歳以下では「自分の健康（主に精神的理由）」「自分の適性・能力への不安」とともに「勤務時間が長い・超過勤務が多い」「夜勤の負担が大きい」が上位でメンタル面の支援と労働環境の改善が課題となっている。
- ◆ 退職したいと考える理由のうち「上司との関係」は、どの年代でも一定程度みられる。
- ◆ 退職理由は、24歳以下では「自分の健康（主に精神的理由）」が17.7%で最も高く、2017年度より2.9ポイント増加している。

- ◆ 現在、看護職として就業していない求職者に限定して、前の職場を退職した理由をみると「結婚」「転居」「妊娠・出産」「子育て」「自分の健康（主に身体的理由）」が上位となっている。なお、理由から「その他」は除いている。（表1）
- ◆ 29歳以下では「結婚」「転居」「自分の健康（主に精神的理由）」、30～39歳と40～49歳では「妊娠・出産」「結婚」「子育て」「転居」「配偶者の転勤」、50～59歳では「親族の健康・介護」「自分の健康（主に身体的理由）」が高く、年齢階級によって、必要とする定着の支援の違いが示唆される。
- ◆ 特に24歳以下では「自分の健康（主に精神的理由）」が17.7%で2017年度の14.8%より高くなっており、新卒看護職に対するメンタル面のケアの取り組みの必要性が示唆される。

## **News Release**

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2019年11月18日

- ◆ 現在、看護職として就業している求職者に限定して、今の職場を退職したいと考えている理由をみると「看護職の他の職場への興味」「勤務時間が長い・超過勤務が多い」「転居」「結婚」「子育て」が上位となっている。（表2）
- ◆ いずれの年齢階級においても「看護職の他の職場への興味」「勤務時間が長い・超過勤務が多い」が多いが、その他では、29歳以下は「転居」「自分の適性・能力への不安」「夜勤の負担が大きい」、30～39歳と40～49歳は「子育て」「転居」、50～59歳は「転居」「親族の健康・介護」が上位となっている。
- ◆ 特に24歳以下では「自分の健康（主に精神的理由）」「自分の適性・能力への不安」「勤務時間が長い・超過勤務が多い」「夜勤の負担が大きい」が上位にあり、新卒看護職員に対する支援が課題であることと併せて、相対的に夜勤や労働時間の負担が高いことから、深夜業の回数の制限、勤務間インターバル制度の導入など、看護職の働き方改革に早急に取り組む必要性が示唆される。
- ◆ 「上司との関係」については、順位は下位ではあったが、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60歳以上」のすべての年齢階級で上位10項目以内となっており、年齢階級が低いほど高くなっている。

表1 退職理由（年齢階級別）（上位10項目）

全体	結婚	転居	妊娠・出産	子育て	自分の健康 (主に身体的理由)	配偶者の転勤	看護職の他の 職場への興味	親族の健康・ 介護	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	自分の健康 (主に精神的理由)
	11.3%	8.7%	8.6%	7.2%	6.4%	6.1%	5.5%	5.4%	5.2%	4.0%
29歳以下	結婚	転居	自分の健康 (主に精神的理由)	妊娠・出産	看護職の他の 職場への興味	自分の適性・ 能力への不安	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	自分の健康 (主に身体的理由)	夜勤の負担が 大きい	責任の重さ・ 医療事故への不安
	14.4%	12.2%	9.3%	8.2%	8.1%	7.5%	7.3%	6.2%	6.2%	5.5%
	24歳以下	自分の健康 (主に精神的理由)	自分の適性・ 能力への不安	自分の健康 (主に身体的理由)	上司(看護管理 者等)との 関係	責任の重さ・ 医療事故への不安	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	看護職の他の 職場への興味	興味を持って ない・やりがい がない	同僚との関係
17.7%	14.1%	8.8%	8.8%	8.3%	8.1%	6.5%	4.8%	4.6%	4.3%	
25~29歳	結婚	転居	妊娠・出産	看護職の他の 職場への興味	自分の健康 (主に精神的理由)	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	夜勤の負担が 大きい	配偶者の転勤	自分の適性・ 能力への不安	自分の健康 (主に身体的理由)
17.1%	14.2%	9.6%	8.5%	7.1%	7.1%	6.7%	6.0%	5.8%	5.6%	
30~39歳	妊娠・出産	結婚	転居	子育て	配偶者の転勤	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	自分の健康 (主に身体的理由)	夜勤の負担が 大きい	自分の健康 (主に精神的理由)
	16.6%	16.1%	12.0%	11.8%	8.8%	6.1%	5.4%	4.7%	4.7%	4.3%
	30~34歳	妊娠・出産	結婚	転居	子育て	配偶者の転勤	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	自分の健康 (主に精神的理由)	夜勤の負担が 大きい
16.0%	15.7%	13.3%	10.8%	8.8%	6.1%	5.5%	5.2%	4.9%	4.9%	
35~39歳	妊娠・出産	結婚	子育て	転居	配偶者の転勤	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	自分の健康 (主に身体的理由)	夜勤の負担が 大きい	家事と両立し ない
17.0%	16.5%	12.7%	11.0%	8.9%	6.0%	5.4%	4.7%	4.5%	4.0%	
40~49歳	結婚	子育て	妊娠・出産	転居	配偶者の転勤	自分の健康 (主に身体的理由)	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	親族の健康・ 介護	家事と両立し ない
	12.6%	9.9%	9.2%	8.3%	7.1%	6.8%	5.4%	5.3%	5.1%	4.3%
	40~44歳	結婚	妊娠・出産	子育て	転居	配偶者の転勤	看護職の他の 職場への興味	自分の健康 (主に身体的理由)	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	家事と両立し ない
13.6%	12.2%	12.0%	9.1%	8.0%	6.0%	5.7%	4.9%	4.7%	4.1%	
45~49歳	結婚	自分の健康 (主に身体的理由)	子育て	転居	親族の健康・ 介護	配偶者の転勤	妊娠・出産	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	看護職の他の 職場への興味	上司(看護管理 者等)との 関係
11.5%	8.0%	7.5%	7.4%	6.2%	6.2%	6.0%	5.7%	4.7%	4.4%	
50~59歳	親族の健康・ 介護	自分の健康 (主に身体的理由)	結婚	転居	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	配偶者の転勤	休暇がとれな い	雇用者側の都 合	自分の適性・ 能力への不安
	10.4%	9.1%	7.2%	7.1%	5.7%	5.4%	4.4%	3.8%	3.8%	3.5%
	50~54歳	親族の健康・ 介護	結婚	自分の健康 (主に身体的理由)	転居	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	配偶者の転勤	子育て	休暇がとれな い
10.0%	8.7%	8.4%	7.0%	5.7%	5.6%	5.4%	4.0%	4.0%	3.9%	
55~59歳	親族の健康・ 介護	自分の健康 (主に身体的理由)	転居	看護職の他の 職場への興味	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	結婚	夜勤の負担が 大きい	休暇がとれな い	雇用者側の都 合	自分の健康 (主に精神的理由)
10.9%	10.1%	7.2%	5.7%	5.2%	5.1%	3.6%	3.5%	3.5%	3.2%	
60歳以上	定年	親族の健康・ 介護	自分の健康 (主に身体的理由)	結婚	雇用者側の都 合	転居	勤務時間が長い・ 超過勤務が多い	看護職の他の 職場への興味	家事と両立し ない	配偶者の転勤
19.9%	7.2%	4.5%	2.3%	2.3%	2.3%	2.0%	1.9%	1.8%	1.7%	

表2 退職したい理由（年齢階級別）（上位10項目）

年齢階級	看護職の他の職場への興味	勤務時間が長い・超過勤務が多い	転居	結婚	子育て	夜勤の負担が大きい	自分の適性・能力への不安	昇進・昇給・給与に不満	自分の健康（主に身体的理由）	上司（看護管理者等）との関係
全体	12.9%	8.1%	8.0%	6.7%	6.7%	5.8%	5.5%	5.3%	5.3%	5.1%
29歳以下	23.5%	14.7%	13.7%	12.4%	12.2%	11.5%	11.2%	8.8%	8.6%	7.8%
24歳以下	22.7%	19.7%	19.6%	16.6%	12.8%	11.8%	10.2%	10.1%	9.7%	9.0%
25～29歳	23.7%	15.4%	14.0%	13.1%	12.0%	9.9%	8.6%	8.0%	7.8%	7.2%
30～39歳	15.5%	12.7%	10.0%	8.6%	7.7%	7.4%	6.9%	6.7%	5.9%	5.6%
30～34歳	17.1%	11.7%	10.7%	10.7%	9.3%	8.8%	7.9%	7.6%	6.6%	6.5%
35～39歳	14.3%	13.4%	9.5%	7.7%	7.0%	6.2%	6.0%	5.9%	5.1%	5.1%
40～49歳	12.0%	8.8%	6.9%	6.3%	5.9%	5.6%	5.3%	5.1%	5.0%	4.9%
40～44歳	11.9%	11.0%	7.1%	5.9%	5.8%	5.8%	5.2%	5.2%	5.1%	4.3%
45～49歳	12.1%	7.0%	6.8%	6.8%	6.7%	6.1%	5.5%	5.4%	5.0%	4.9%
50～59歳	8.6%	7.2%	7.1%	6.8%	6.4%	4.9%	4.3%	3.9%	3.8%	3.8%
50～54歳	10.3%	8.0%	7.7%	6.8%	6.5%	5.3%	5.0%	4.9%	4.5%	4.3%
55～59歳	6.8%	6.2%	6.2%	6.0%	6.0%	4.8%	4.4%	4.3%	4.0%	3.8%
60歳以上	25.8%	5.1%	3.8%	3.7%	3.5%	3.0%	1.8%	1.7%	1.7%	1.7%

## 4. 応募、就職の状況

◆ ナースセンターでは、求人施設へ応募した求職者が就職に至る割合が56.7%に上る。

◆ 求職者67,620人のうち19,336人、28.6%が応募し、結果的に就職に至った者は10,970人、16.2%だった。これを求人施設側からみると、157,087人の求人に対して12.3%に応募があり、7.0%が就職したことになる。（図4）

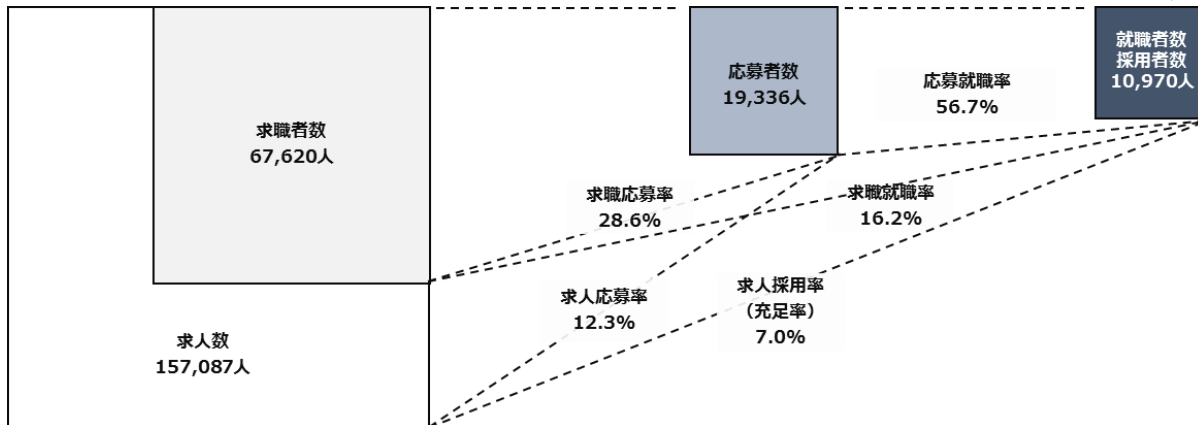


図4 求職者、求人の応募、就職の状況

注) 図は求職者数、求人数、応募者数、就職者数・採用者数をそれらの人数に比例させた面積の正方形で示している。

- ◆ また、求人施設へ紹介され、応募に至った者に限定してみると、19,336人のうち10,970人、56.7%が就職している。(図5)

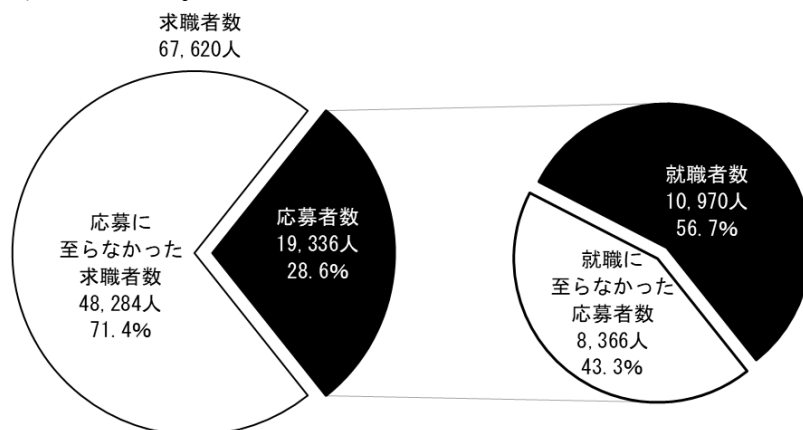


図5 ナースセンターで紹介された求職(応募)者が就職した割合

## 5. 求人数、求職者数

- ◆ 「病院(500床以上)」は、求人数減少の一方、求職者は継続的に増加している。
- ◆ 訪問看護ステーションの求職者は、2016年度より3割増加している。

- ◆ 登録された求人数は「病院(20~199床)」が34,125人と最も多く、次いで「病院(200~499床)」23,341人、「訪問看護ステーション」15,266人、「診療所(無床)」14,456人、「病院(500床以上)」10,914人の順である。

「病院(500床以上)」の求人数は2016年度の15,042人、2017年度の12,336人から減少している。(図6)

- ◆ 求職者が登録時に希望する施設種類は複数回答で、求職者1人あたり平均3.0カ所の施設種類を回答しており、「病院(20~199床)」「診療所(無床)」「病院(200~499床)」「健診センター・労働衛生機関」「病院(500床以上)」の順である。また、「病院(500床以上)」については、求人数の減少に対して求職者数が継続して



増加している。「訪問看護ステーション」も求人数は約1割増であるが、求職者数は2016年度、2017年度より3割の増加となっている。(図6)

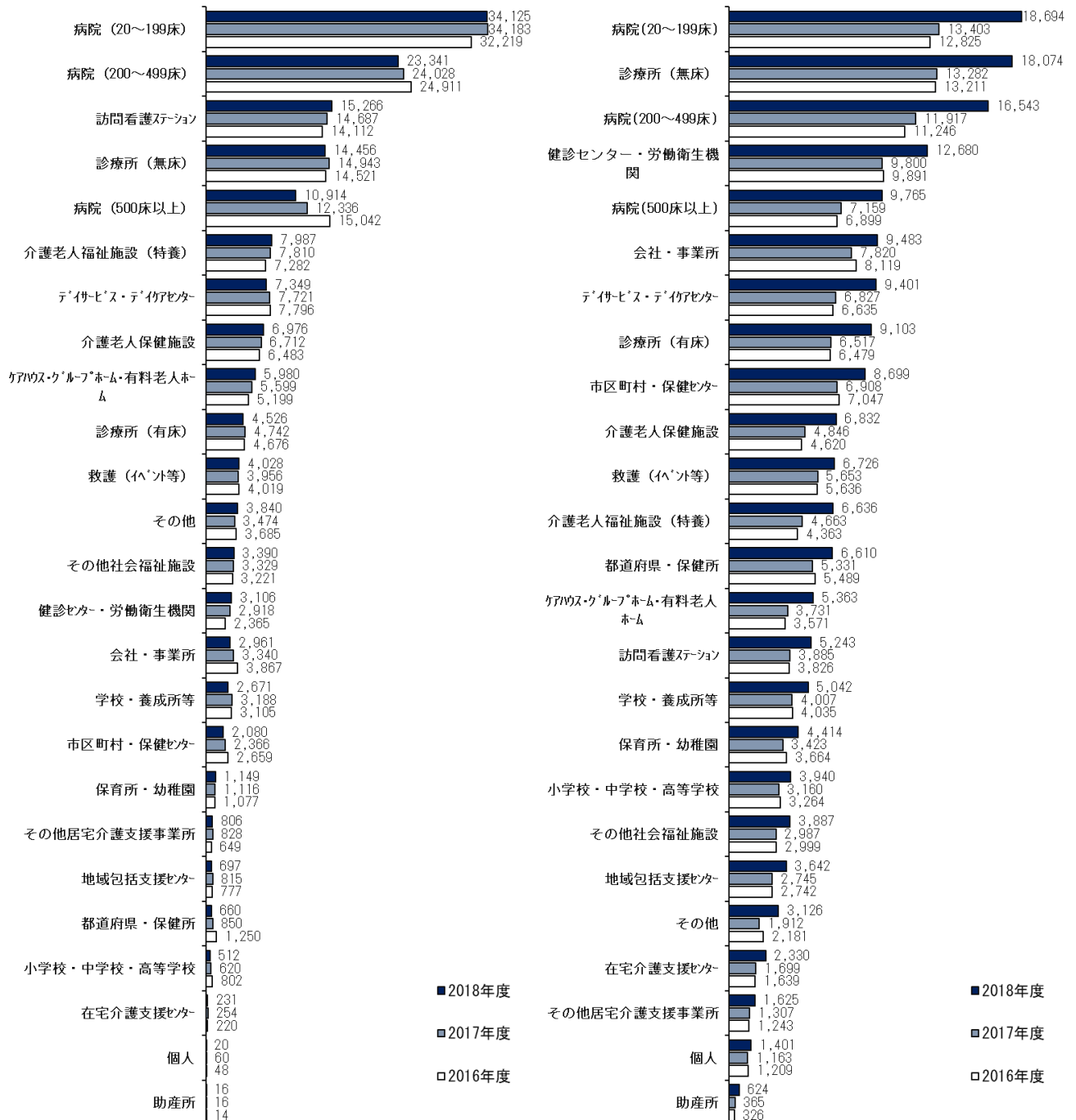


図6 求人数 (左)、求職者数 (右) (2016年度・2017年度・2018年度)

## 6. 求職者が就職の際に重視する条件

### ◆ 就職の際に重視する条件は、勤務時間、給与、看護内容、通勤時間の順

◆ 求職者が就職の際に重視する条件は、全体では「勤務時間」32.0%、「給与」24.7%、「看護内容」21.7%、「通勤時間」21.6%、「休暇」17.6%の順となっている。（重視する条件は上位の3つを複数回答）（図7）

希望施設に対する回答が一つだけだった求職者に限定してみると、「病院（200床以上）」のみを希望している求職者は「給与」39.8%を最も重視し、次いで「看護内容」「勤務時間」「休暇」の順である。また、「キャリアアップ」を重視する割合も15.5%と相対的に高い。一方で、「病院（20～199床）」のみでは、同様の傾向に加えて「通勤時間」が高くなっている。

「介護老人保健施設」のみを希望している求職者は「給与」「休暇」が高く、「介護老人福祉施設（特養）」のみを希望している求職者は「通勤時間」「給与」「勤務時間」が高い。

「訪問看護ステーション」のみを希望している求職者は「勤務時間」が最も高く、次いで「給与」「看護内容」の順である。

希望している施設種類で就職の際に重視する条件の順位は異なるものの、求職者はおおむね再就業の際に自身の生活と仕事を両立できる条件を意識していることが推測される。

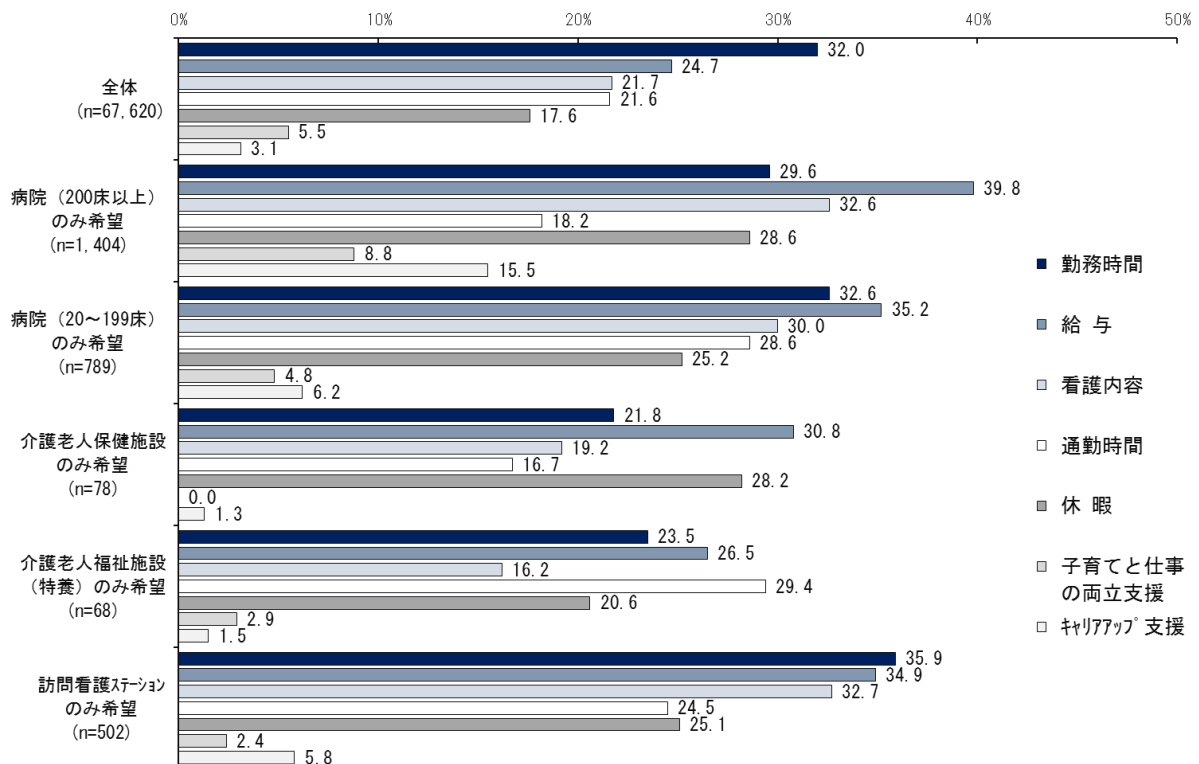


図7 求職者が就職の際に重視する条件（求職者の希望している施設種類別）

## 7. 就職者

- ◆ 就職者は40歳以上が多く、非常勤、臨時雇用では60歳以上が多い。
- ◆ 病院への求職就職率は年齢階級が低いほど高く、一方で60歳以上も高くなっている。病院と比べて、診療所、訪問看護ステーション、介護保険施設・事業所の求職就職率は低い。

◆ 就職者数は10,970人で、雇用形態別の内訳は常勤3,661人、非常勤2,792人、臨時雇用4,517人である。年齢階級別にみると、常勤、非常勤ともに「40～44歳」が最も多く、子育てが落ち着いた時期を契機として再就職していることが推察される。

一方、非常勤、臨時雇用では「60歳以上」の就職者が特に多く、このことから定年後のセカンドキャリアの働き方として個々の希望に合わせたオーダーメイドの雇用の仕組みの整備が求められる。（図8）

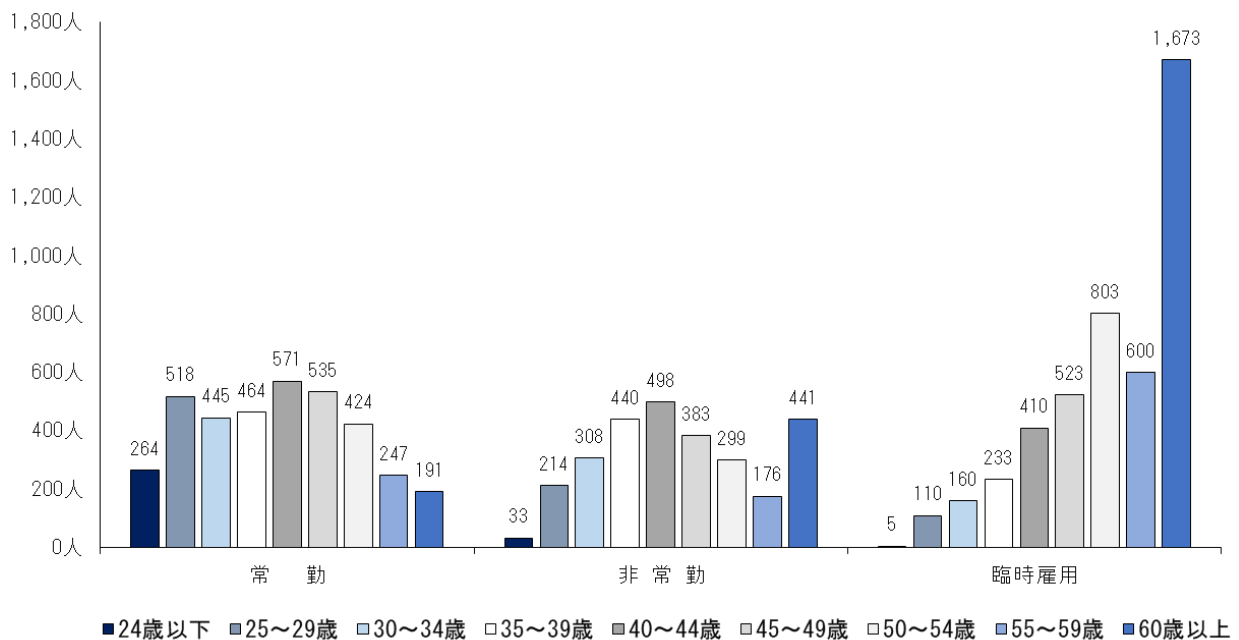


図8 就職者数（雇用形態別）（年齢階級別）

◆ 就職者数を病院や診療所などの同一の施設種類ごとに新たにまとめた施設種類別にみると「病院」が多く、次いで「診療所」「健診センター・労働衛生機関」「介護保険施設・事業所」「学校・養成所等」「訪問看護ステーション」の順となっている。なお、常勤の就職者に限定すると「病院」「診療所」「介護保険施設・事業所」「訪問看護ステーション」の順となる。（図9）

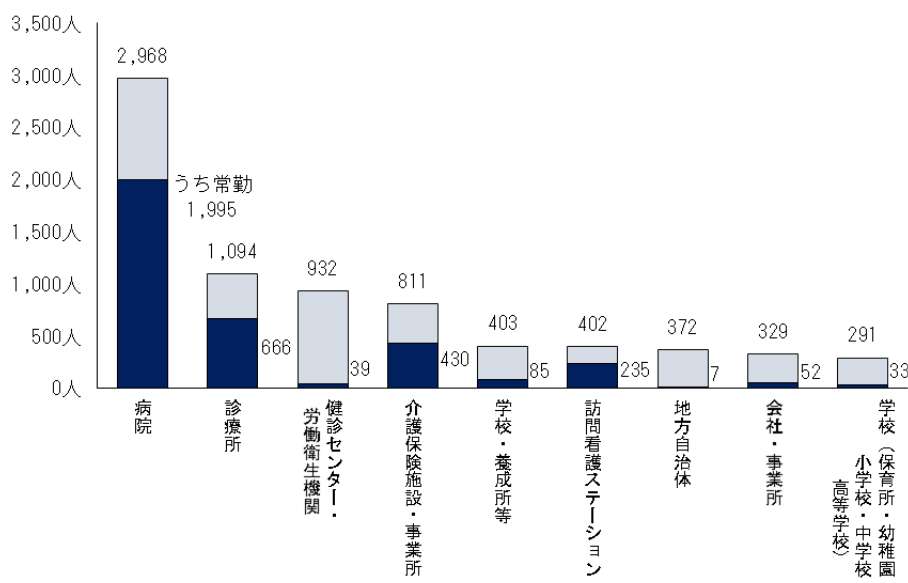


図9 就職者数（施設種類別）（雇用形態別）

◆ 「病院」「診療所」「介護保険施設・事業所」「訪問看護ステーション」への求職者のうち、施設に就職した割合（求職就職率）を年齢階級別にみると、病院への就職率は「24歳以下」が最も高い。病院では夜勤・交代制勤務をできる者が求人の中心となりがちであるため、そのような働き方が可能な若年層の求職者が多く就職に至っていると考えられる。

他方、「診療所」については、いずれの年齢階級においても6%前後、「介護保険施設・事業所」については「24歳以下」と「60歳以上」を除いた年齢階級で6%前後となっている。また「訪問看護ステーション」については「30～34歳」の求職就職率が高くなっている。（図10）

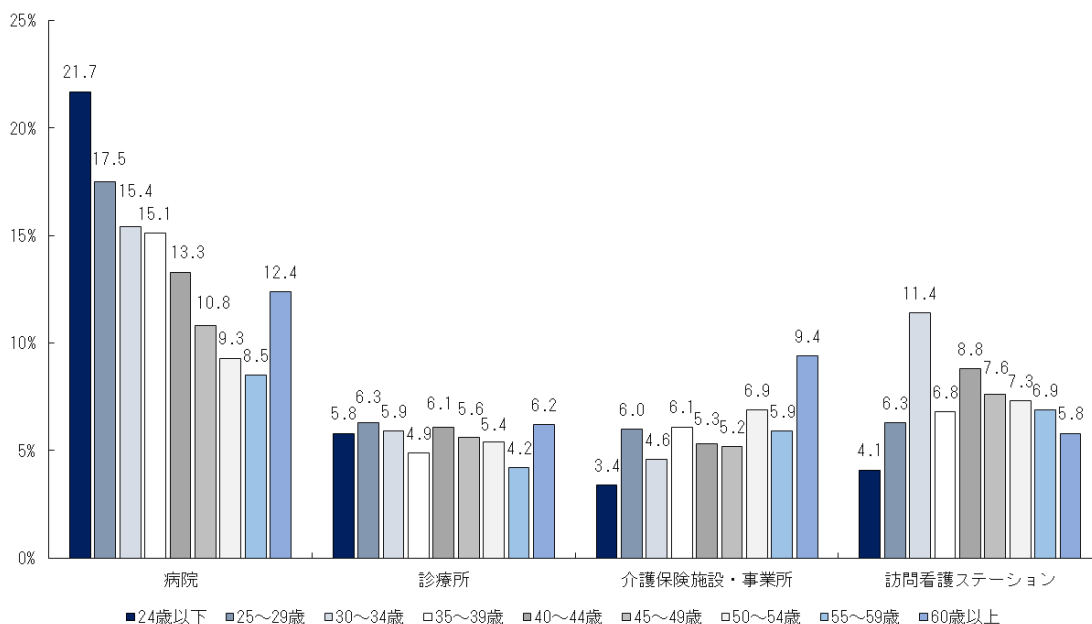


図10 求職就職率（施設種類別）（年齢階級別）